

1 輝きとぬくもりのまち (6) 地域で活躍する元気な 高齢者	評価理由	順調が2つ、横ばいが1つ、不調が1つとなっているため。		
18	19	20	21	
高齢者人口に対する自立高齢者率	自治会・町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民（高齢者）の割合	シルバー人材センターの登録会員数	シルバー人材センターの就業延人員	
指標の推移による。 要介護認定の改正に伴う影響があるかどうか、検討を要する。	指標の推移による。	指標の推移による。 平成12年度当時に比べると 下降気味であり、不調に近い 状況にある。 高齢者人口が増加している ので、増えてもいいのでは ないか。	指標の推移による。 市や一般市民からの注文は 横ばいだが、現在の経済状況 を反映して、事業所からの依 頼が減少した。	

1 輝きとぬくもりのまち (7) 地域で社会で自立する 障害者	評価理由	順調が3つ、横ばいが3つであるが、更なる改善努力が求められるため。		
22	23	24	25	
障害者計画に基づき入所施設から地域生活へ移行する人数	事業所における障害者雇用率	障害を持つ人も社会参加できる環境が整っていると思う市民の割合	手話サークル登録者数（ボランティアセンター）	
指標の推移による。	指標の推移による。 現在の経済状況の影響で、 長期的にみれば不調に近い が、近年でみると横ばいである。	指標の推移による。	指標の推移による。	

1 輝きとぬくもりのまち (7) 地域で社会で自立する 障害者	
(2)	26
ボランティアセンター登録者数	公共施設等のバリアフリー化の6項目クリア率
指標の推移による。	指標の推移による。 平成19年度の県平均13.1% と比較すると、能代市の率は 低いことから、更なる改善努力 が求められる。

1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術		(--)	(^-^)	順調 3	(^-^)	順調 3	(--)	横ばい 3	(>_<)	不調 0	
27	(--)	横ばい	(4)	(^-^)	順調	(5)	(^-^)	順調	28	(--)	横ばい
地区の祭りや七夕・民俗芸能 などへ参加を心がけている市 民の割合			自主学习グループ数（公民館 登録）			自主学习グループ会員数（公 民館登録）			能代市民俗芸能連合会加盟団 体数		

1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術		(--)	(^-^)	順調 3	(^-^)	順調 3	(--)	横ばい 3	(>_<)	不調 0	
29	(--)	横ばい	30	(^-^)	順調	(^-^)	順調	(--)	横ばい	(>_<)	不調
文化財保護協会の会員数			檜山歴史ガイドの会会員数								

1 輝きとぬくもりのまち (9) だれもが気軽に楽しめ るスポーツ		(--)	(^-^)	順調 3	(^-^)	順調 3	(--)	横ばい 0	(>_<)	不調 1	
31	(^-^)	順調	32	(^-^)	順調	33	(^-^)	順調	34	(>_<)	不調
スポーツに親しんでいる市民 (週一回以上)の割合			優良競技者・団体表彰数（栄 光賞）			スポーツ少年団認定指導者数			バスケの街を他に誇れると思 う市民の割合		

1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術	評価理由	順調が3つ、横ばいが3つであるが、特に民俗芸能の継続が懸念されるため。	
27	(4)	(5)	28
地区の祭りや七夕・民俗芸能などへ参加を心がけている市民の割合	自主学習グループ数（公民館登録）	自主学習グループ会員数（公民館登録）	能代市民俗芸能連合会加盟団体数
民俗芸能連合会（能代・二ツ井）発足以来、発表会などで地域間交流が盛んになったが、指導者の高齢化と少子化により、継承者の問題があるため。	指標の推移による。 事業終了の際、継続と分派により増加している。 増加の傾向は、公民館など場所の確保や取り合いといった、活動場所の限界という問題もある。	指標の推移による。 グループ数の増加や団塊の世代の新規加入により増加している。	もともと増加要素がないが、廃れた芸能の再発掘が可能であれば、増加も見込めるため。 芸能活動は、お囃子の笛の継承者がいれば、継続していく傾向にある。

1 輝きとぬくもりのまち (8) ふるさとの誇りを受け 継ぐ文化・芸術	
29	30
文化財保護協会の会員数	檜山歴史ガイドの会会員数
会員数は減少しているが、新たな入会者もあり、活動状況からも不調とはいえないため。	指標の推移による。 ガイド養成講座の受講者が増加した。 事業の宣伝広告が積極的になされている。

1 輝きとぬくもりのまち (9) だれもが気軽に楽しめるスポーツ	評価理由	スポーツに親しんでいる市民の割合は順調といえるが、「バスケの街」という市民意識は低いのではないかとと思われるため。	
31	32	33	34
スポーツに親しんでいる市民（週一回以上）の割合	優良競技者・団体表彰数（栄光賞）	スポーツ少年団認定指導者数	バスケの街を他に誇れると思う市民の割合
指標の推移による。 秋田わか杉国体の影響ではないか。	指標の推移による。 表彰規程の見直しも一つの要因である。	指標の推移による。 小学校の野球・ソフトボールのスポ少化が浸透して、必要に迫られて資格を取得することで増加が著しい。	指標の推移による。 市民の意識は工業高校の成績に左右されるのではないか。 「バスケの街づくり」事業のあり方に問題がある。